奈良新聞 朝刊

知識あれば予防可能

奈良で市民公開講座

下肢静脈瘤など解説

エコノミークラス症候群の予防法などを解説する今井会長＝18日、奈良市登大路町の県文化会館

血管の病気の治療に携わる県内の医師や看護師、理学療法士らでつくる「県の静脈とリンパの病気を考える会」が18日、奈良市登大路町の県文化会館で、市民公開講座「あなたの足を守りましょう～下肢静脈瘤（りゅう）・リンパ浮腫・深部静脈血栓症」を開催。約350人が参加した。

同会の会長を務める今井崇裕・西の京病院血管外科センター長らが講演。今井会長は、深部静脈血栓症（エコノミークラス症候群）について、発症のメカニズムや予防法を解説し、「知っていれば予防できる病気。普段から弾性ストッキングの活用や足をこまめに動かすなどの心掛けを」と呼び掛けた。

また県立医大付属病院の多林伸起医師と天理よろづ相談所病院の三和千里医師による下肢静脈瘤のレーザー治療についての解説や西の京病院血管外科センターの和田小百合看護師から、リンパ浮腫の具体的な治療法の紹介なども行われた。